

事業名	国営農地再編整備事業	地区名	ひかしそや 東宗谷
都道府県名	北海道	関係市町村名	えさしくんはまんとんべつちよう 枝幸郡浜頓別町
事業概要	<p>本地区は、北海道枝幸郡浜頓別町に位置し、二級河川頓別川及びその支流沿いに広がる酪農地帯である。</p> <p>本地域では、牧草の作付を主体とした大規模な酪農経営が展開されている。</p> <p>しかし、本地区の農地は、ほ場が小区画であり、一部のほ場では土壌条件により排水不良等が生じていることから、生産性が低く、農業経営は不安定なものとなっている。</p> <p>また、経営耕地も分散しているため、非効率な機械作業を余儀なくされている。</p> <p>このため、本事業では、区画整理と農地造成を一体的に施行し、農業生産基盤の整備と土地利用の整序化を進め、農業生産性の向上と農業経営の安定化を図り、農業の振興を基幹として本地域の活性化に資することを目的としている。</p>		
概要	<p>受益面積 1,427ha (畑 1,427ha)</p> <p>主要工事計画 区画整理 1,422ha (畑 1,422ha) 農地造成 5ha (畑 5ha)</p> <p>国営総事業費 6,200百万円 (令和4年度時点 8,320百万円)</p> <p>工期 平成24年度～令和6年度 (予定)</p>		
評価	<p>【事業の進捗状況】</p> <p>令和3年度までの進捗率 (事業費ベース) は約92%である。</p>		
	<p>【関連事業の進捗状況】</p> <p>該当なし</p>		
評価項目	<p>【農業情勢、農村の状況その他の社会経済情勢の変化】</p> <p>本地区を受益区域とする浜頓別町の平成22年と令和2年の10年間の農業等の情勢の変化を見ると、以下のとおりである。</p> <p>1 産業別就業人口の割合</p> <p>浜頓別町の就業人口は、平成22年の2,154人から令和2年には1,872人に減少 (△13%) している。</p> <p>このうち、農業就業人口は、平成22年の207人から令和2年には167人に減少 (△19%) し、産業別就業割合も10%から9%に減少している。</p> <p>2 農業・農村の動向</p> <p>(1) 地域農業の概要</p> <p>浜頓別町の農業は、牧草の作付を主体とした大規模な酪農経営が展開されている。</p> <p>浜頓別町の農業産出額は、平成22年の3,041百万円から令和2年の4,399百万円に増加 (45%) している。</p> <p>このうち、生乳の産出額は、平成22年の2,602百万円から令和2年には3,575百万円に増加 (37%) しており、農業産出額に占める割合は平成22年の86%から令和2年の81%に減少している。</p> <p>(2) 認定農業者数・農業生産法人数</p> <p>浜頓別町の認定農業者数は、平成22年の59人から令和2年の44人に減少 (△25%) している。</p> <p>農業生産法人数は、平成22年の9法人から令和2年の9人と横ばいで推移している。</p>		

評価項目	<p>(3) 経営耕地面積 浜頓別町の経営耕地面積は、平成22年の5,930haから令和2年の5,920haに減少(△1%)している。1経営体当たり平均経営耕地面積は、平成22年の85.9ha/経営体から令和2年の126.0ha/経営体に増加(47%)している。また、経営耕地面積100ha以上の経営体の割合は、平成22年の10%から令和2年の21%と11ポイント増加している。</p>												
	<p>【事業計画の重要な部分の変更の必要性の有無】</p> <p>現時点において事業計画の重要な部分の変更はなく、事業計画を変更する必要は生じていない。</p> <p>1 事業の施行に係る地域 現時点で受益地域を変更する必要はない。</p> <p>2 主要工事計画 現時点で主要工事計画を変更する必要はない。</p> <p>3 事業費 令和4年度時点における国営総事業費は現計画の6,200百万円から8,320百万円となっている。このうち物価変動以外の要因による事業費の変動は無い。</p>												
	<p>【費用対効果分析の基礎となる要因の変化】</p> <p>本事業においては、作物生産量の増加、営農経費及び維持管理費の増減、従来の施設機能の維持等を主な効果として見込んでいる。 平成27年度評価地区から、国産農産物安定供給効果が効果項目に追加されたため、今回の再評価において新たに計上している。 費用対効果分析の基礎となる受益面積、土地利用に変動はなく、計画全体の経済性を損なうような要因の変化はない。</p> <p>なお、上記を基に費用対効果分析を行った結果は以下のとおりである。</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>総 便 益</td> <td>(B)</td> <td>21,073 百万円</td> <td>(現行計画 9,788百万円)</td> </tr> <tr> <td>総 費 用</td> <td>(C)</td> <td>15,099 百万円</td> <td>(現行計画 7,582百万円)</td> </tr> <tr> <td>総費用総便益比</td> <td>(B/C)</td> <td>1.39</td> <td>(現行計画 1.29)</td> </tr> </table>	総 便 益	(B)	21,073 百万円	(現行計画 9,788百万円)	総 費 用	(C)	15,099 百万円	(現行計画 7,582百万円)	総費用総便益比	(B/C)	1.39	(現行計画 1.29)
	総 便 益	(B)	21,073 百万円	(現行計画 9,788百万円)									
	総 費 用	(C)	15,099 百万円	(現行計画 7,582百万円)									
総費用総便益比	(B/C)	1.39	(現行計画 1.29)										
<p>【環境との調和への配慮】</p> <p>本事業の施行に際しては、濁水流出防止に努めることにより、魚類等の生態系に配慮するとともに、既存河畔林を極力現状のまま残すことにより鳥類等の生息環境に配慮している。</p>													
<p>【事業コスト縮減等の可能性】</p> <p>本事業で行う区画整理において、附帯明渠埋戻し延長の見直しや、客土・不陸整正範囲の見直し、耕作道路整備幅の見直しにより事業コストの縮減を図っている。</p>													

【関係団体の意向】

北海道及び浜頓別町は、完了予定年度に向けて、円滑かつ確実な事業の推進、更なるコスト縮減を要望している。

【評価項目のまとめ】

本地区は、農家戸数や経営耕地面積は減少しているが、1経営体当たり平均経営耕地面積は増加している。

事業の進捗状況は、令和3年度までに92%となっており、牧草の作付けを主体とした酪農経営において、ほ場の大区画化による効率的な営農が進んでいる。大型機械の導入によるほ場内での営農作業時間の短縮は、適期の収穫作業等による良質な牧草の確保を可能とし、多様化する酪農経営の安定に資する事業効果の発現が認められる。

現時点において、事業計画の重要な部分の変更はなく、環境との調和への配慮及びコスト縮減に努めつつ事業を推進している。

関係団体からは、完了予定年度に向けて、円滑かつ確実な事業の推進を求められている。

以上のとおり、農業情勢、農村の状況等の変化、地域農業の営農方針、関係団体の意向などから、事業の必要性については変わっていない。

【技術検討会の意見】

本事業は、酪農経営への大型機械導入による営農作業の効率化により、生産性向上と農業経営の安定化を図ることを目的としている。本事業による区画整理と附帯する排水路の整備は、良質な牧草の確保と安定した生乳生産を行うための基盤形成に必要不可欠と認められる。

整備済みの大区画ほ場では、大型機械による効率的な営農作業が可能となっており、TMRセンターの利用による分業化が促されているとともに、このことは、放牧を行っている経営体にとっても経営の安定化に寄与していることから、完了に向けた事業の推進が望まれる。

また、事業の遂行にあたっては、周辺環境との調和に十分配慮するとともに、一層のコスト縮減に努められたい。

【事業の実施方針】

事業の完了に向けて、計画的な事業推進に努めるとともに、周辺環境との調和と一層のコスト縮減を図る。

<評価に使用した資料>

- ・国勢調査（平成22年、令和2年）
- ・農林業センサス（平成22年、令和2年）
- ・農林水産省統計情報（<http://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>）
- ・経済産業省/商業統計（<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/syougyo/>）
- ・経済産業省/工業統計調査（<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/kougyo/>）
- ・総務省統計局/経済センサス（<http://www.stat.go.jp/data/e-census>）
- ・北海道農政部/各種統計（<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/nsi>）
- ・土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について（平成19年3月28日付け18農振第1598号農林水産省農村振興局企画部長通知（令和4年4月1日一部改正））
- ・国営東宗谷土地改良事業計画書（区画整理、農地造成）
- ・一般公表されていないものについては、北海道開発局 稚内開発建設部 稚内農業事務所 調べ

東宗谷地区 概要図

